

2005年度・「政治学」

(月曜3限開講 担当：宮下大志)

学年末試験 問題用紙

2006/1/30 (月) 3限実施 披見：否

注意事項

1. この試験は、問題用紙と解答用紙が別になっているので、留意すること。
2. 時間になるまで問題用紙の次ページ以降の内容は見ないこと。
3. 試験開始以前に、解答用紙に必要事項（受験者の所属や氏名等）を記入しておいてもかまわない。ただし、学生証の提示、受験カードの記入等、試験監督の指示を優先すること。
4. この問題用紙は、表紙も含めて、片面印刷で5ページである。試験開始時間になったら、乱丁・落丁がないかを確認した上、解答を始めること。
5. 問題用紙は回収しないので、各自持ち帰ること。
6. 全く解答不能の場合でも、答案用紙は必ず提出すること。
7. 答案用紙の表の面に書ききれない場合には、裏面に書いてもかまわない。ただしその際には、解答用紙に指示されている方向から書きはじめること。
7. 不正行為があった場合、あなたの将来に大きな影響を及ぼすことになるので、不正行為は絶対にしないこと。
8. 文字は読みやすい字を書くよう、心掛けること。
9. 問題に答えず、ただノートの内容を再現しただけの答案には単位が与えられないので、ちゃんと問題に答える形で答案を書くこと。
10. 優秀な答案を作成した者には、後日氏名を発表して表彰するが、氏名の公表を望まないものは、解答用紙冒頭に、その旨明記すること。

あの空き地には、あなたとのび太、しずかちゃん、ジャイアンとドラえもんが集まっていた。もう、皆35歳である。そう、実はあなたは、アニメには登場したことはなかったが、のび太達と同級生だったのだ。

まずジャイアンが口を切る。

「なんかここんところ、ひでえよな。金持ちばかりがいい思いしやがって。また金持ちには減税で、貧乏人の税率を上げるっていうじゃねえか。オレなんか、別になまけてるわけじゃないけど、小さな雑貨屋じゃ、がんばったところで稼ぎはたかが知れているのに、これ以上税金を払えっていうのかよ！」

しずかちゃんもうなずく。

「そうよね。うちも、のび太さんのお給料じゃ、かなりきびしいわ」

のび太はすまなそうにうつ向いた。

そこへドラえもんが口をはさむ。

「でもこうなるまで放っておいたのも君たちだろう？ のび太君なんか、選挙の日も、家でノビスケ君（のび太としずかちゃんの子供）とゲームしていて投票しなかったし、ジャイアンは、投票に行ったのはいいけれど、言っている政策も考えずに、『この出木杉って、オレの同級生なんだぜ』とか言って、まわりの人にまで宣伝して、選挙管理委員の人に注意されてたじゃないか。そんなことしてたから、こんな世の中になっちゃったんだよ」

「でも、あの出木杉さんが、あんな政治家になるとは思わなかったわ」

「しかたがないよ。出木杉は、富も、社会的地位も、知識も自分の努力で手に入れたわけだし。そういう意味では、『自分で努力して成功した人たちが報われる社会にしよう』ってあいつが考えたとしても、おかしくはないよね」

これにはジャイアンが怒った。

「おいのび太、お前はどっちの味方なんだよ！ それに、出木杉は自分の努力で今の地位を得たのかもしれないけれど、スネ夫はどうなんだ？ あいつなんか、親

のカネで学歴や地位を手に入れて、今の政府の政策でいい想いをしているじゃねえか！」

ジャイアンは続ける。

「オレだって、『持てるやつは全部持ってる、持たないやつは全部持っていない』という状況にはちょっと前に気付いたから、息子のヤサシには教育から始めて、なんとか上層に行けるようにしてやりたかったんだけど、でも、オレ、頭悪いから子供に勉強教えてやれないし、カネないから、子供を塾に通わせることもできないし。結局、親がカネ持ってればめでたしめでたし、親がカネなければあきらめるしかない、っていう世の中なんだよな」

あなたを含めて、みんながうなずいた。

どうも、あなたが35歳になる頃までには、「持てる者・持たざる者」がはっきり分かれてしまった社会になっているようだ。しかも、自分で努力して上層の地位を手に入れる者もいるにはいるが、親が上層であるために、有利な地位を手に入れた者の方が大半のようだ。

ドラえもんは言う。

「そんなに文句があるのだったら、じゃあこの社会をひっくり返そうよ。みんなで人々に訴えて、政治のあり方を変えるといい。だって『持っていない人』の方が多いはずだから、訴え方によっては政治が変わるはずだよ」

「でもね〜 … 」あなたはおそろおそろ言った。

「でもそうしたら、新たな政党を立ち上げなきゃいけないよね。今の政党って、みんな『持てる者』の方を向いているんだから。そういう人しか政治的な発言もこれまでしなかったし」

そのとき、なぜかのび太が、はっきり顔を上げて言った。

「じゃあ、やろう！」

「どうせこのまあいっても、いいことはなさそうだし、それならば下層の言い分

を分かってもらう、というか、人々に訴えた方がいいんじゃない？ ノビスケには悪いけど、ちょっとこれからゲームの時間は少なくなるかもしれないけれど、まわりの人にも訴えて、政治を変えようよ！」

にわかにはみんなが賛同した。

あなたは、宮下先生の「政治学」を遥か昔に受講していたので言う。

「じゃあ、誰を党首にする？ 政策の基本は『下層の人々にも光を！』でいいにしても、党首は、やはり人々にアピールできないといけないよね」

それにはみんなが、二の足を踏んだ。

まず、ジャイアン。

「オレは … リサイタルだったらいいんだけど、演説はちょっとなあ」

続いて、しずかちゃん。

「あたし、ヴァイオリンだったらいいけど、政治の演説はちょっと恥ずかしいわ」

あなたは …。

「うう〜ん、宮下先生の政治学をとったから、アドヴァイスはできるけど、でも人前で話すのはどうもね …」

そして、ドラえもん。

「そもそも僕は、ネコ形ロボットだから、被選挙権を持っていないし …」

そうすると、のび太しかいない。のび太は、「え〜っ！ ドラえもん〜ん、なんとかして〜！」と言ったが、ドラえもんは、

「のび太くん、これまではいろいろ道具を使って助けてきたけれど、選挙の話になると、これはさすがに道具で左右すべき問題ではない。自分達の手で本当に他の人たちの支持をかちとらなければいけないよ」

さて、「のび太。をプロデュース」である。

のび太を政治家らしく仕立てて、演説で何を訴えるか？ マニフェストの内容もつめてゆかなければならない。その際、中心になるのは、大学で政治学をとったあ

なたである（そのあなたが、なぜのび太達の側において、出木杉やスネ夫達の側にいないのかという疑問はこの際置いておこう）。

さあ、「のび太新党（仮称）」の訴える政策、そして支持拡大のための戦略を解答用紙に展開しなさい。

答案を書く際には、以下に挙げた12の語のうち少なくとも7つ以上をそのまま使って、解答すること。そして、それらの語をそれぞれ最初に使った箇所では、その語を で囲むこと。もちろん、下記の語群以外にも、この講義の内容を参照しながら、多角的に論じることが望まれる。

また、問題文に記されている以外の、あなたが35歳になった時の政治状況・社会状況については、問題文の状況設定に矛盾しない限り、あなたなりに状況設定をしてよい（一般の学生と年齢が違う人は、今から十数年後という設定で解答すること）。

語群：（省略）

なお、「就職が決まっているので単位がほしい」など、個人的な事情を述べて単位を懇願する記載のある答案は0点とする。時間に余裕のある場合は、講義・試験についての感想を末尾に書いてほしい（ただし、採点対象にはならないので、時間のない中、無理に書いてくれなくてもいい。後に会った時にでも聞かせてくれれば、その方がいいだろう）。